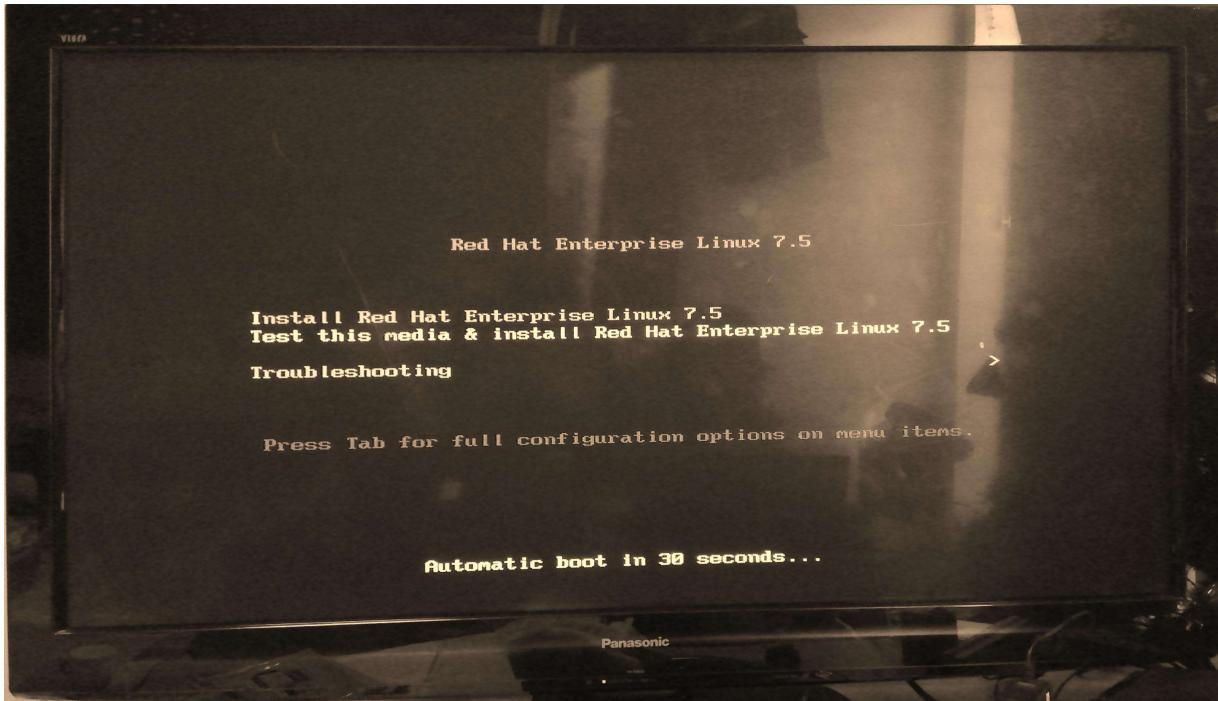


rhelinstall

PCが再起動したのちに、下記画面が出てくる。

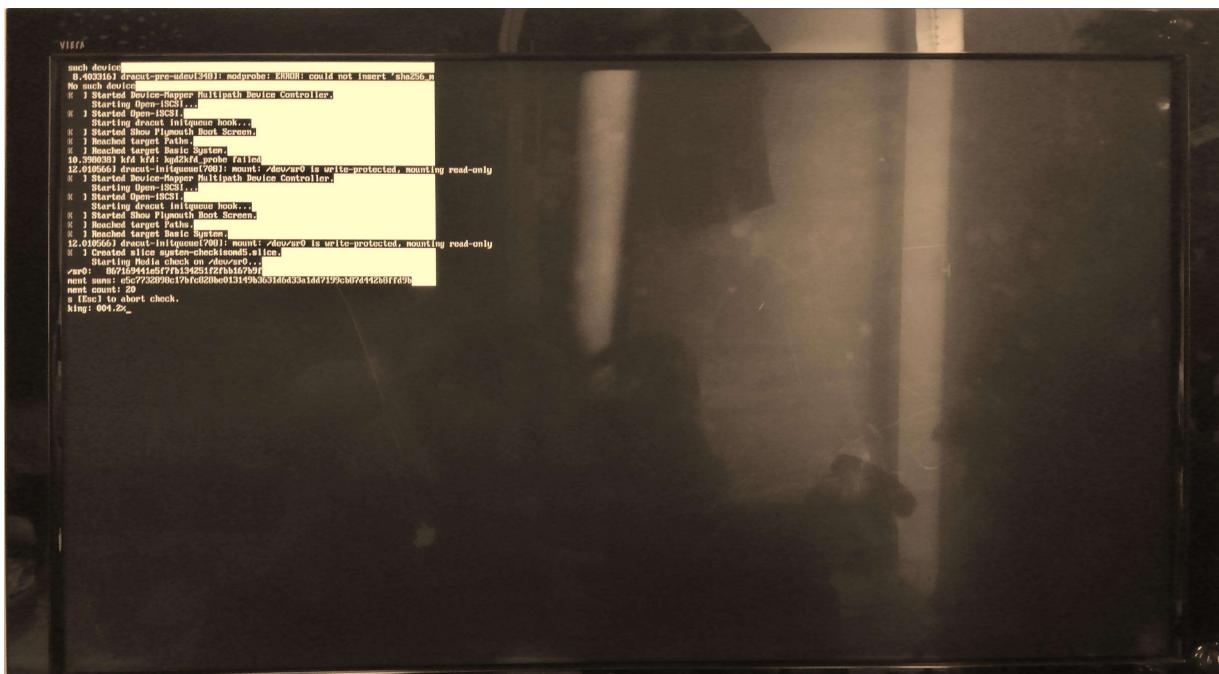
薄緑字の文字と白文字が記載されている。薄緑字が選択されている状態。

デフォルトでInstall Red Hat Enterprise Linux 7.5が薄緑字になっていることを確認して、Enterキーを押す



そのままにしておくと、下記画面が出てくる

しばらく時間がかかる。パーセンテージの数字が徐々に上がって、100%になるまで待つ。

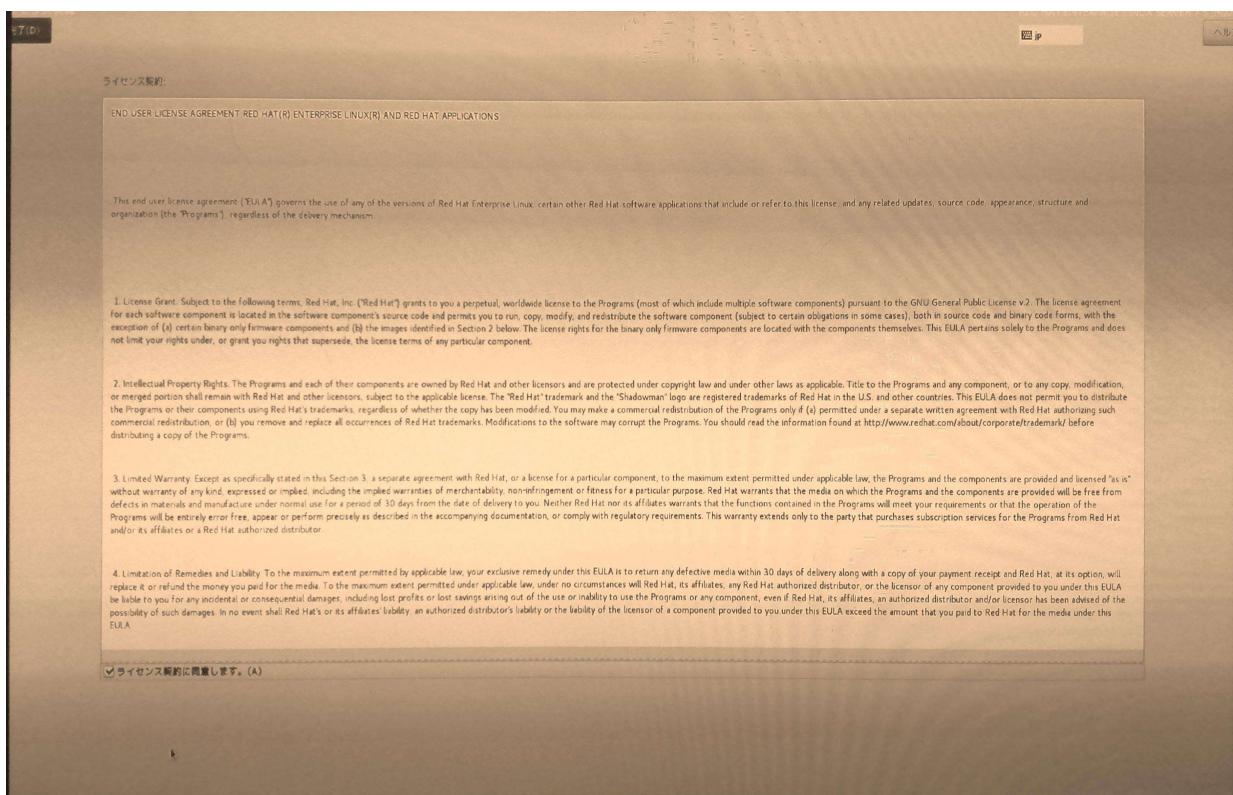


100%になったら、下記画面に変わる。

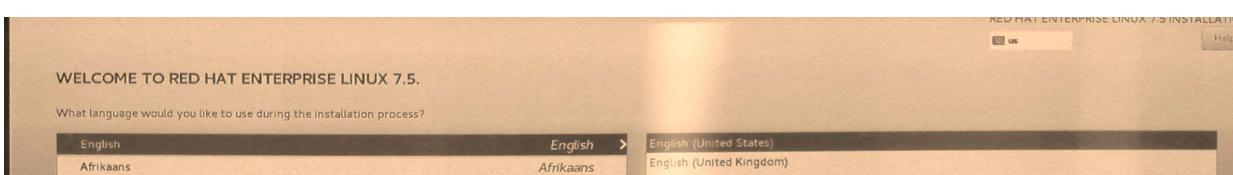
rhelinstall



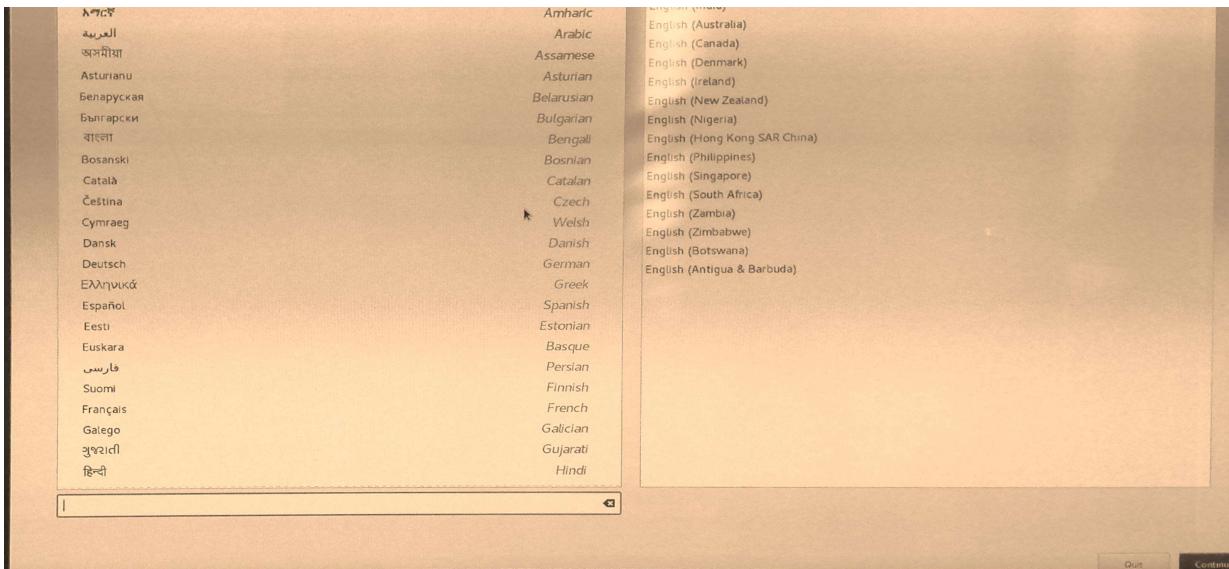
ライセンス同意画面になるので、左下のチェックボックスにチェックを入れて、左上の「完了」ボタンを押す。



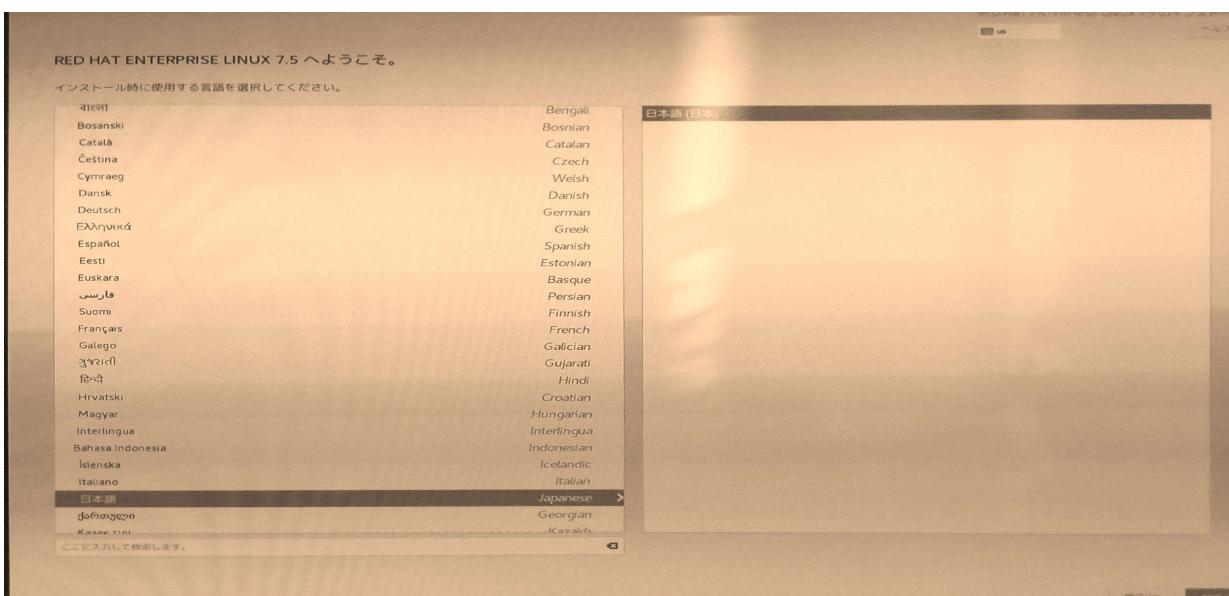
WELCOME TO … の画面に切り替わる。



rhelinstall



日本語を選択して、右下の「完了」を押す。



インストールの概要ページに切り替わる。

※構成定義書に記載するため

地域設定

日付と時刻	デフォルトから変更不要
キーボード	デフォルトから変更不要
言語サポート	デフォルトから変更不要

- 初期設定内容をメモしておく(※)
- 初期設定内容をメモしておく
- 初期設定内容をメモしておく

ソフトウェア

インストールソース	自動的に選択される
-----------	-----------

- 初期設定内容をメモしておく
- 設定内容の確認ができるか不明?
- 変更した設定内容をメモしておく

ソフトウェアの選択	デフォルトから変更する
-----------	-------------

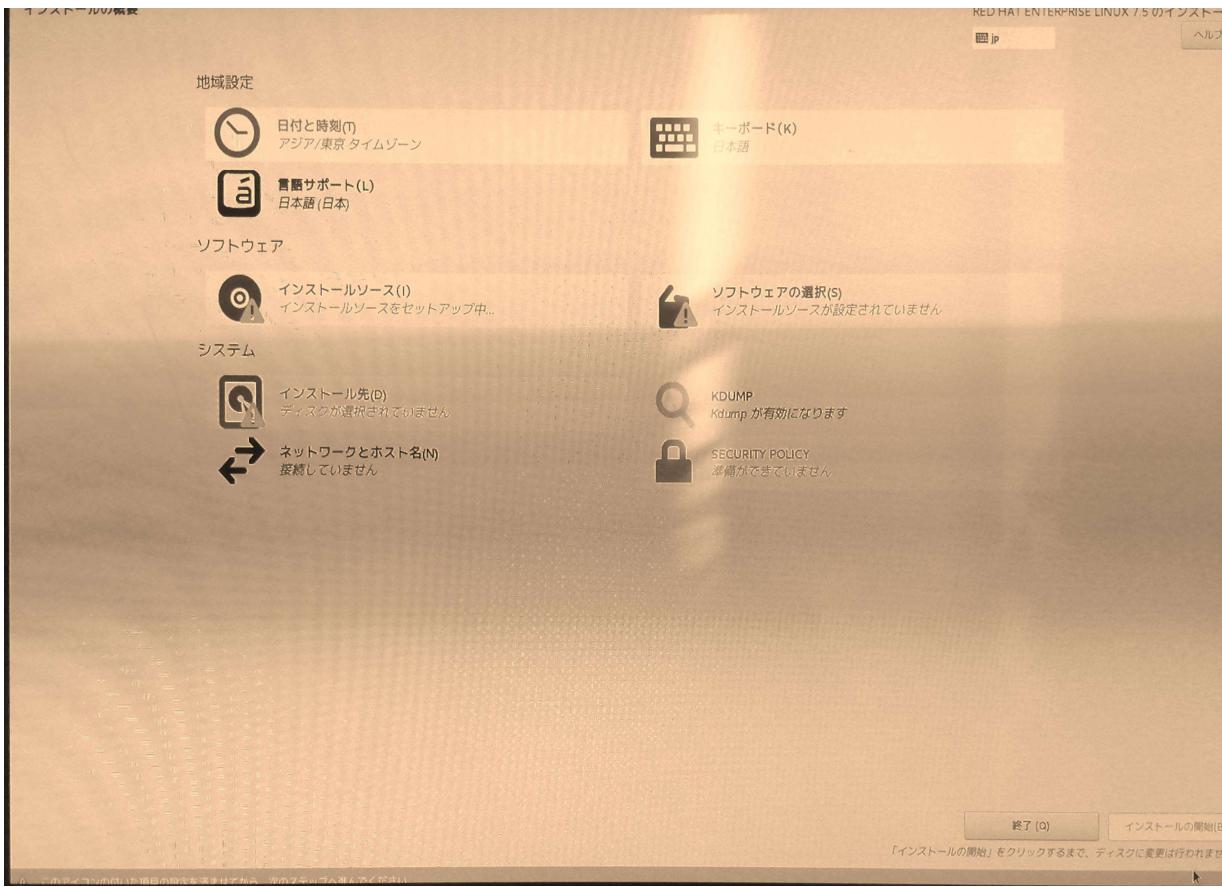
- 変更した設定内容をメモしておく
- 初期設定内容をメモしておく
- 変更した設定内容をメモしておく
- 初期設定内容をメモしておく

システム

インストール先	デフォルトから変更する
KDUMP	デフォルトから変更不要
ネットワークとホスト名	デフォルトから変更不要
SECURITY POLICY	デフォルトから変更不要

rhelinstall

設定内容の確認ができるか不明?

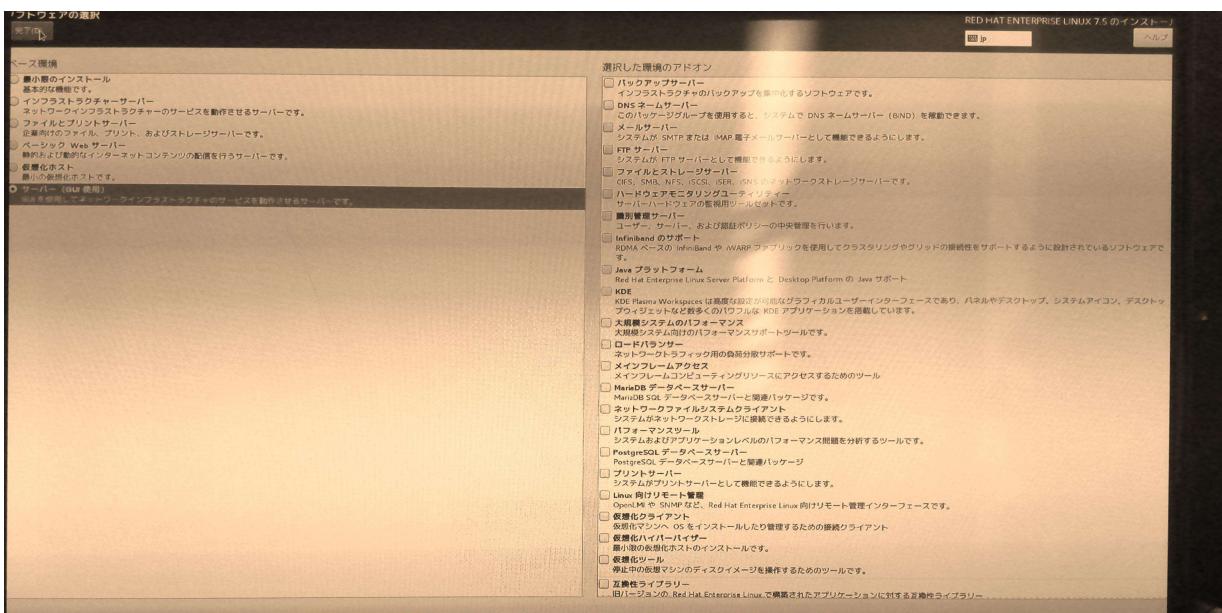


ソフトウェアの選択

デフォルトでは一番上の「最小限のインストール」になっている。

これだと、CUI画面でコマンド入力しかできないため、一番下の「サーバー(GUI使用)」を選択する。

右側のメニューはそのまま、左上の「完了」ボタンを押す。



インストール先

ローカル標準ディスク

特殊なディスクおよびネットワークディスク

ディスクの追加

その他のストレージオプション

パーティション構成

パーティションを自動構成する

管理端末のハードディスクが表示される

本案件では使用しない前提

本案件では使用しない前提

パーティション構成

パーティションを自分で構成する

(デフォルト)選択

→そのまま

※自動構成で問題がある場合に、自分で構成するを選択する

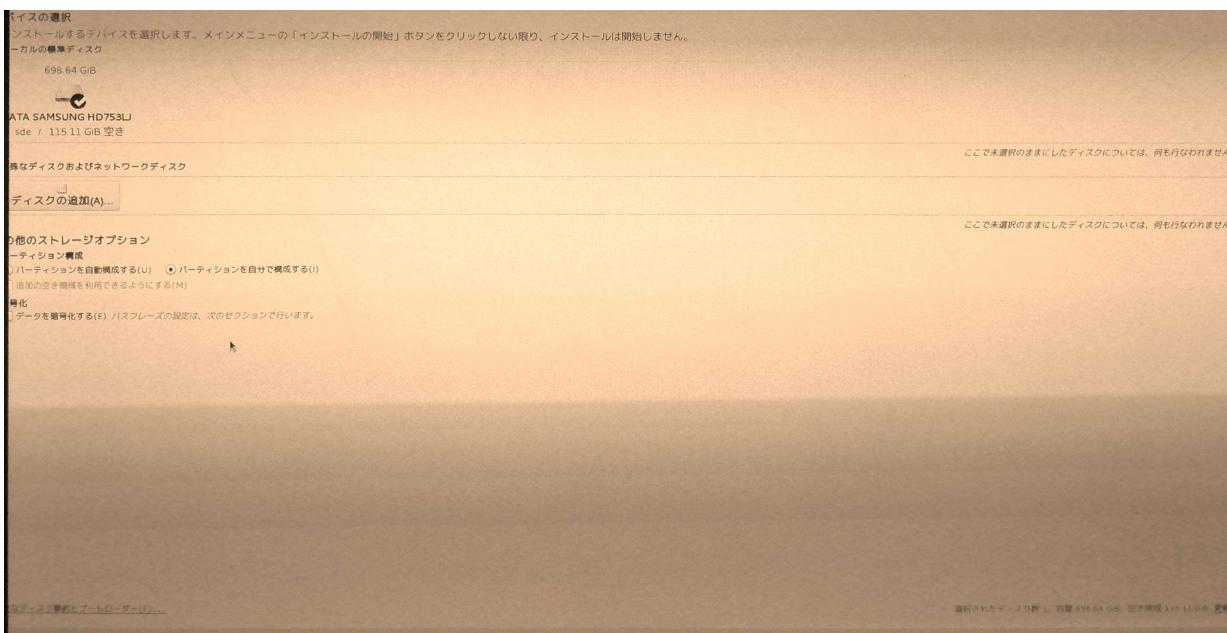
暗号化

データを暗号化する

(デフォルト)チェックなし

→そのまま

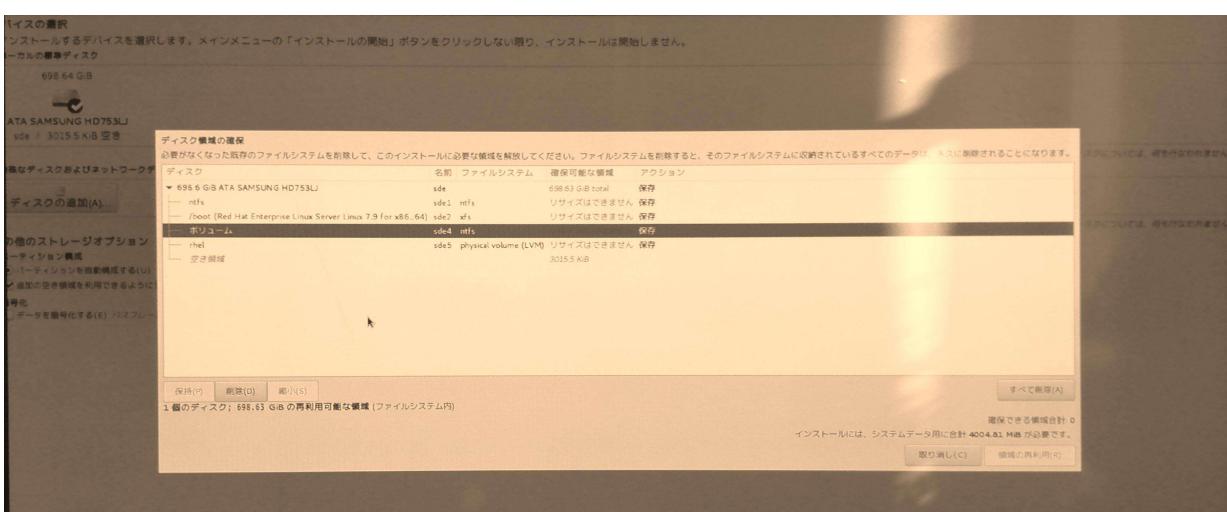
上記を確認、選択して、左上の「完了?」ボタンを押す。



完了ボタンを押すと下記のような画面が出ることもある。(出ないかもしれない)

おそらくディスク領域をパーティションで区分けしている場合、どのパーティションにRHELをインストールするか選択する画面となる。

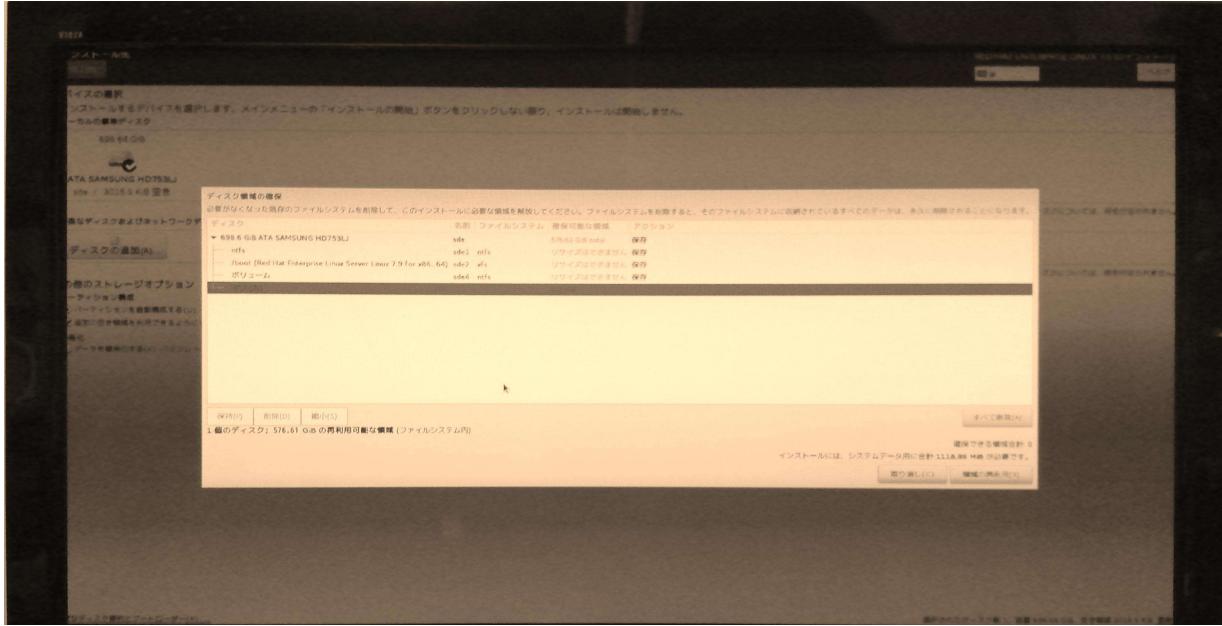
正しい領域を選択して、右下の「領域の再利用」ボタンを押す。



rhelinstall



この場合、一番下の「空き領域」を選択した。



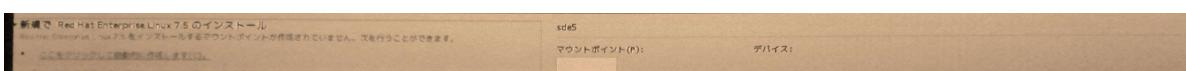
「パーティション自分で構成する」を選択した場合、下記のような画面になる。

自動構成を選択しても、それぞれの領域がどのような構成になっているか確認した方がよいかもしれません。

/home 領域の設定



/boot 領域の設定



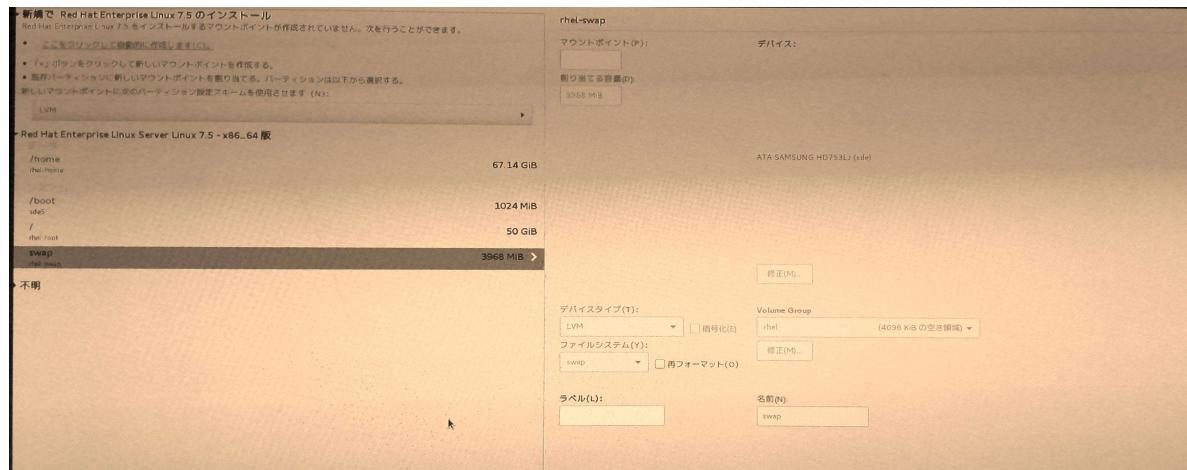
rhelinstall



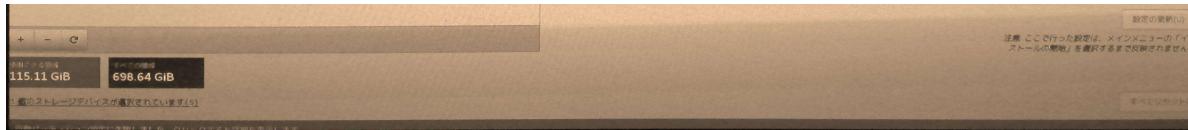
/領域の設定



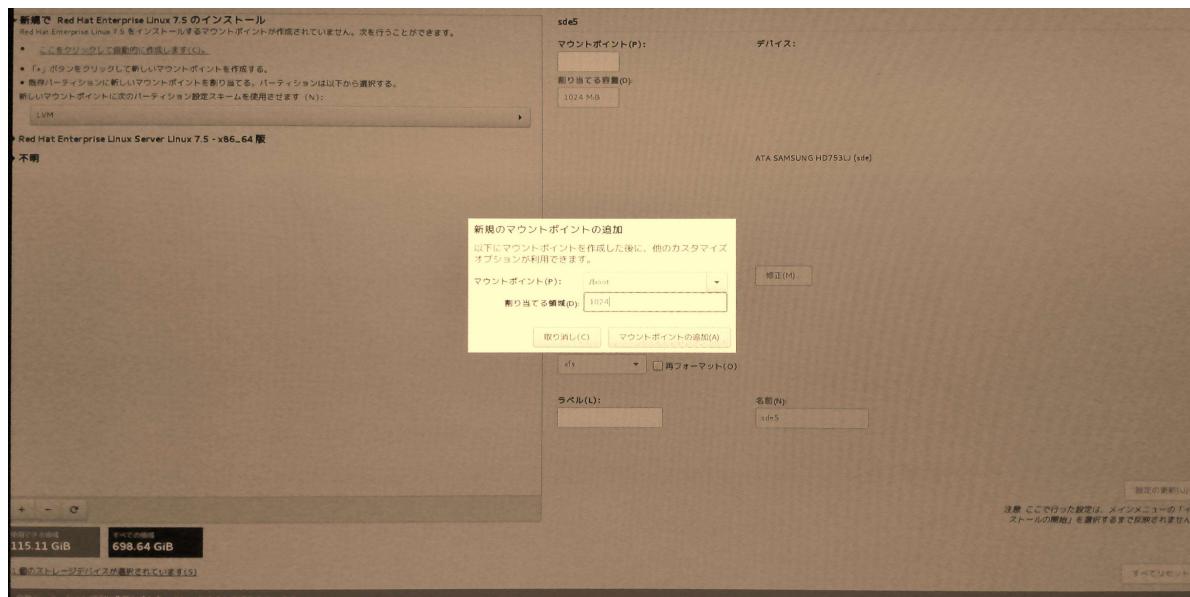
swap領域の設定



rhelinstall

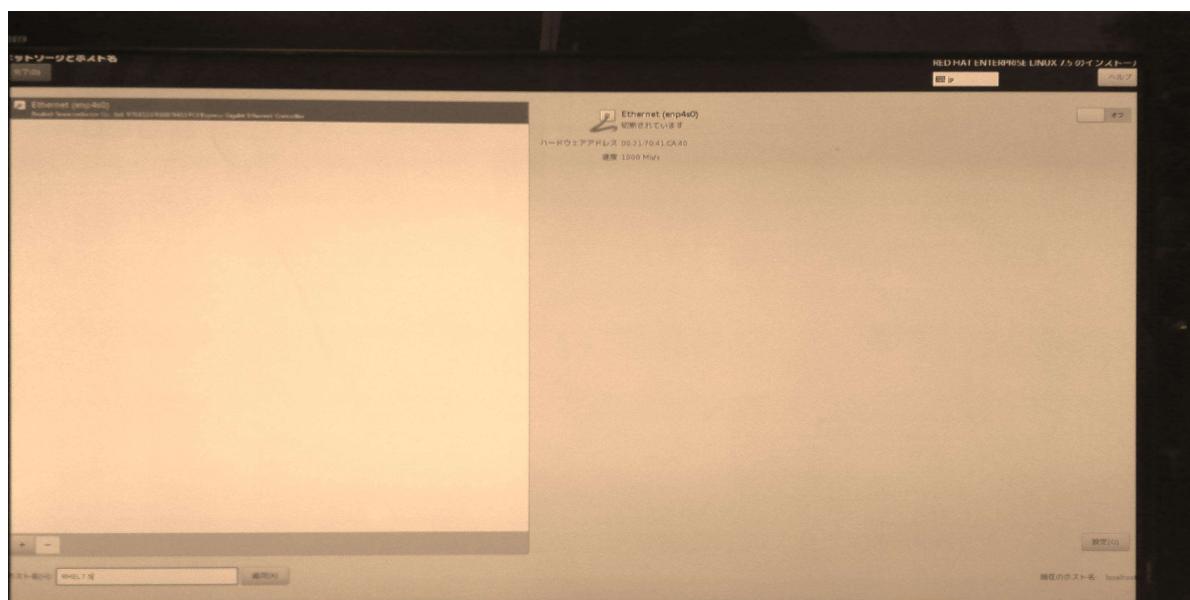


マウントポイントを新たに追加する場合は、左下の+マークを押して、追加する。

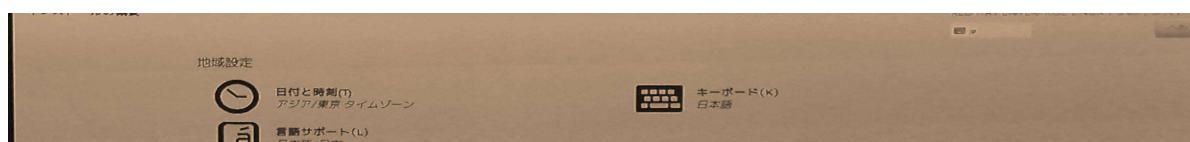


ネットワークとホスト名

左下のホスト名の部分を書き換えるのであれば、任意の値に変更して、左上の「完了」ボタンを押す。



元の「システムの概要」画面に戻ったら、右下の「インストールの開始」ボタンを押す。



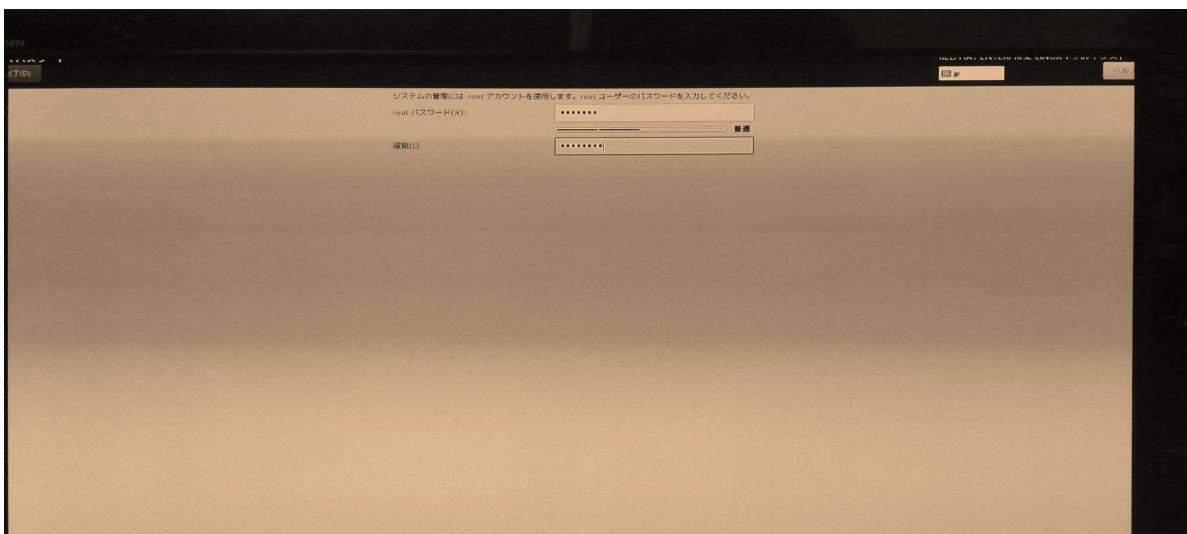
rhelinstall



インストールを開始して、その間に、ユーザーの設定を行う。



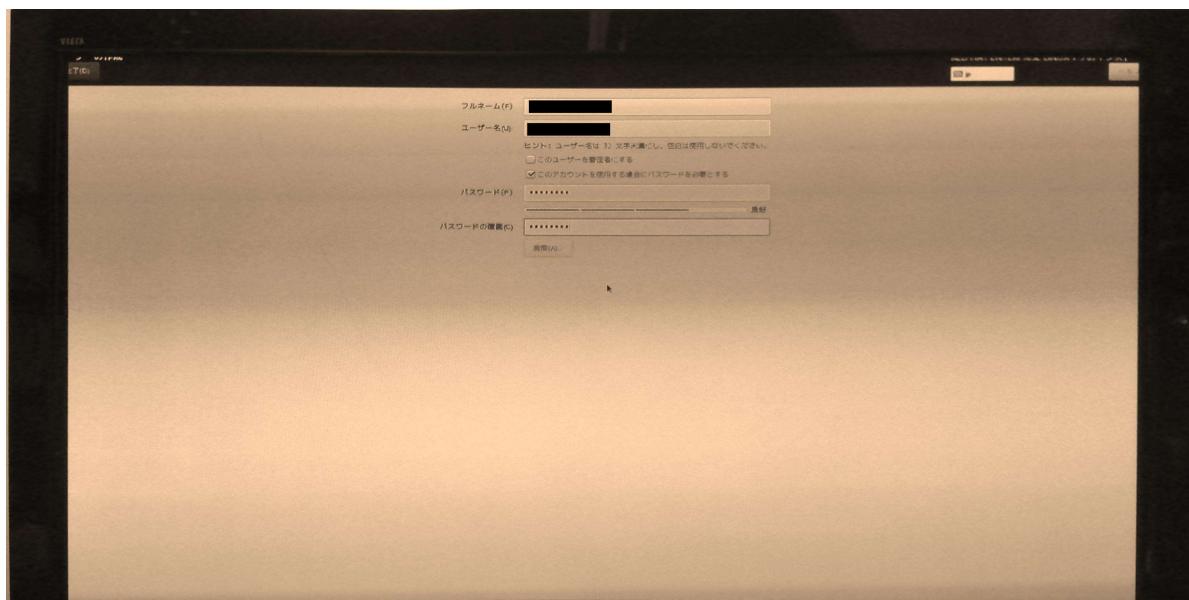
Rootパスワードの設定





ユーザーの作成

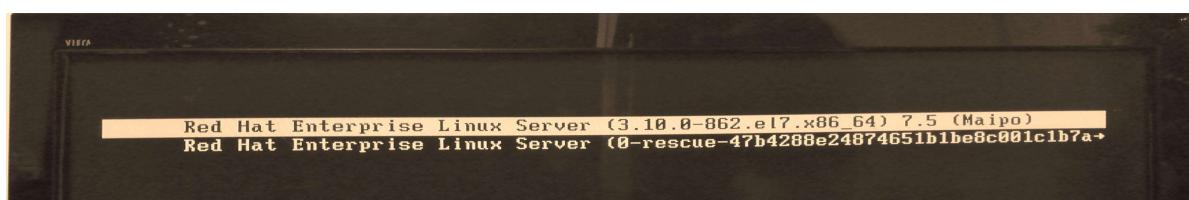
任意のユーザーを作成する。作成する必要があれば。



インストール完了。右下の「再起動」ボタンを押す。



再起動後の画面。上を選択してEnterキーでRHELが起動する。



rhelinstall

